

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中島貞夫

山名	鈴鹿山系 御池岳 1247m	山行名	個人山行
ルート	藤原町山口—冷川谷—登山口—坂本谷コース分岐—白船峠—キャンプ場—御池岳		
山行日	平成25年11月30日～12月1日	天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：中島貞夫 サブリーダー：佐坂茂美 男性：植西、広瀬 女性：染矢、徳田幸子 合計：6名		

ルート概略図	コースタイム					
	地名		時：分			
	11・30 京田辺	集	6:30	12・1 テント	着	7:40
		発			発	
	登山口	着	10:50	御池岳	着	9:30
		発			発	
	白船峠	着	14:50	テント	着	11:30
		発			発	
	テント場	着	15:20	白船峠	着	13:10
		発			発	
		着		登山口	着	14:50
		発			発	

山行報告

積雪期の御池岳に登りたいと思って、ルートの下見を兼ねて計画した。

国道306が不通で、積雪があると通れないので東の藤原町山口の登山口の近くにあった駐車場に停めてスタートした。登山口までの道が分からず30分ほどロスした。

谷に入ってすぐ左の山腹から尾根に上がるユルイ登り路を順調に進む。残雪があつて登るに連れ少しずつ多くなり斜面が白くなってくる。1時間ほどして右の谷を降りるところで、崩れていて止むをえづ直登して迂回したが、白船峠に着くのに1時間ほどアルバイトした。峠からテント場まではゆるい下りだったが歩いた跡がなく落ち葉が多く積もっていた。谷底まで降りてやっとテントを張ることが出来る場所を見つけたが、今日の内に御池岳をピストンする時間がなくなったので、幕営の準備にかかり、薪を集めて夜に暖をとれるようにした。テントは窮屈だったが焚き火のおかげで楽しい夜になった。

夕べは星も見えていたので今日の天気も晴天を期待して御池岳へ4人でスタートした。谷底を進んだが、思い切って左の尾根に上がって直登することにして登ると赤いテープが連続して付いていて、過去に登った人があるらしいので厳しい直登だったが途中からアイゼンを付けて奥の平の標識があるところに到着したがガスに覆われて視界はない。少し登って御池岳の頂上に着いた。小休止の後下山、急な斜面を足を滑らしながら来た路を下る。谷底で若い男性1人とすれちがう。留守の2人がテントを片付けてくれていたので昼食を済まし全員で峠へ快調に進む。峠からは冷川谷へ直に降りるコースに行く、途中谷で崩れたところを避けると、登りのときに迂回した場所に出てびっくりした。登りの時に気がついていればアルバイトしなくてもよかったのにと後悔した。ゆるい尾根路だが長く感じながら下山、途中転倒もあったがケガもなく無事帰れた。

ヒヤリハット： 無し